

迫力のナウマンゾウ 実物大復元像



皆で力を合わせた 地引き綱



習」in新潟

今回15回目を迎えた本事業は、団体生活をするることによる社会性・自立心の形成、現地の小学校5年生との交流会を通し、お互いの地域の産業や風土等への理解を深め、郷土愛を育むこと等を目的とし、実施しました。今年の参加者は、町内4小学校5年生32名で、7月29日から31日の2泊3日で行いました。ナウマンゾウ博物館では、普段は触ることのできないナウマンゾウの歯の化石を触り、持たせていただくという貴重な体験をしました。磯部小学校5年生との交流会では、はじめは緊張していたものの、名刺交換や学校・学区内の探索を行ううちに互いに打ち解けあい、交流が深まりました。そのほかに、地引綱や直江津カントリーエレベーター(米の製造兼貯蔵施設)の見学、海水浴を行いました。特に海水浴は、とても印象に残ったようです。今回学んだことを、今後の生活に役立ててほしいと思います。



本川根小学校5年
春田 浩奈

私が一番心に残ったことは、日ごろ私たちが見ることのできない景色があったことです。新潟の広い海と田んぼに、川根本町とは違う自然の素晴らしさを実感しました。またいつかお世話になった新潟の方々に会いに行けたらいいと思います。

代表校長 のことば



中川根第一小学校
校長 山村 多可雄

「百聞は一見にしかず」のことわざのとおり、ナウマンゾウの化石に触れたこと、漁火を遠くに眺め潮風を感じながら海のお話を聞いたこと、視界いっぱい広がる田園風景を見たこと、これらの五感をフルに活用した体験こそが今回の学習の目的でした。

子どもたちは歓声や驚きの声を上げ、実感という学習を繰り返していました。身を乗り出して見たり、しばらく呆然として眺めたり、その子なりの学びがありました。

RG授業で子どもたちの交流が盛んになってきました。今回の体験学習により、一人一人の異なった考え方や感じ方を大切に、さらに主体的に関わる姿に変容することを期待します。



米どころ新潟の 直江津カントリーエレベーター

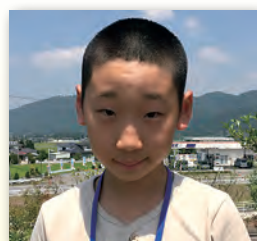


川根本町小学5年生 「県外体験学



中川根南部小学校5年
西澤 柁斗

僕が一番心に残っている活動は、海水浴です。海で泳ぐのは初めてでした。プールではできない体験ができたのでよかったです。波は強く、進もうとしても進めないこともあったけど、海水浴で友達と仲良くなれたので、うれしかったです。



中央小学校5年
田畑 洸葵

僕が一番心に残っている活動は、日本海での海水浴です。海で泳ぐのは初めてだったので、とても楽しみでした。日本海は、想像以上に暖かくて、とても気持ちよかったです。とても楽しい体験学習ができました。また行きたいです。



中川根第一小学校5年
渡邊 舞

私が心に残ったことは、海水浴です。最初は不安でしたが、海に潜って貝を拾っているうちに楽しくなってきました。磯部小や町内の5年生と仲良くなれたことも嬉しかったです。新潟で学んだことを、これからの生活に活かしていきたいです。